

「隠れ共産党」宣言いまなぜ

農業協同組合新聞（電子版、昨年12月28日付）に掲載されたコラム「隠れ共産党」宣言」が反響を呼んでいます。日本共産党の志位和夫委員長が「2017年新春党旗びらき」（4日）のあいさつで、このコラムをとりあげました。コラムを執筆した岡山大学大学院教授の小松泰信さんに、その思いを聞きました。

（伊藤紀夫）

自民と手組むな

「なぜ、いま、「隠れ共産党」宣言」なのですか。

安保法制やTPP（環太平洋連携協定）を強行する安倍政権に怒りが爆発したんです。安保法制に反対して、おとしは40年ぶりにデモに参加し、その年の8月30日には国会前の集会にも参加しました。ところが、農政連（JAグループの政治組織）は翌年の参院選

に向けて自民党の候補を推薦したのです。憲法違反の安保法制を強行し、農の世界においてもTPPを推進し、農協つぶしに走る自民党と手を組むのは、絶対に許せない。それでブッチンと切れました。どこかで書いてやるぞと思ったのが、きっかけです。

幸いにも、昨年11月か

岡山大学大学院 小松 泰信 教授に聞く



こまつ・やすのぶ 岡山大学大学院環境生命科学研究科教授。1953年、長崎生まれ。鳥取大学農学部卒業。京都大学大学院で博士（農学）に。長野県農協地域開発機構研究員、石川県農業短期大学を経て、岡山大学農学部

ら農業協同組合新聞で「地方の眼力」というタイトルのコラムを担当することになり、執筆のために農業者やJA関係者に話を聞いてみました。「昔はきらいだったけど、共産党に投票している。いいことっているよね」と私がいうと、「実は私も」という話になりました。

「JA大会であいさつした野党のなかで拍手が一番大きかったのは、共産党だったと聞いたことがありません。JAグループの結構なポジションの人も「小選挙区はともかく、党名を書くところは共産党に入れるよ」といい、「あなたがですか？」と驚いたこともあります。

綱領と考え一致

「コラムでは、日本共産党の綱領が「国の産業政策のなかで、農業を基幹的な生産部門」として位置づける」と規定しているところを引用して、「農業を高く評価し位置づける政

党に、興味が湧かない人はいないだろう」と書いていますね。

コラムの執筆のために、12月下旬に、共産党の綱領はどんなことが書いてあるんだろうと、共産党のホームページで初めて読みました。「農業を基幹的な生産部門」として位置づける」とは、なんて、すごいことが書いてあるんだとびっくりした。だれも話題にもせず、知らなかったけど、うかつだったと思いましたね。

TPP問題への態度や国会論戦での共産党の質問と、綱領の記述がびつたり一致しているわけですね。その内容は、いつも自分が学生に教えている農業政策と一致しています。考えが一致した政党に投票するのは当たり前ですよ。

「実は私も」広がり驚く